



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



記事「看護フェスティバル」は4ページに掲載。

第53号 目次

特集 - 医師が語る疾患 -

- 第12回 痛くない関節評価法～
関節エコー検査について
リウマチ科部長 井畑 淳……………1

連載

- 職員リレー紹介 第11回 薬剤師→糖尿病療養指導士
⇒糖尿病チームケアユニット……………2

行事紹介

- 第14回糖尿病フェア……………3
- 看護フェスティバル……………4
- 防災訓練実施しました。……………5
- 横浜看護学校 学校説明会のご案内

- 地域医療連携……………6
- 外来担当医表／編集後記……………7



発行 月：平成28年7月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会
 発行責任者：平原 史樹
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電 話：045-851-2621
 FAX : 045-851-3902
 URL : <http://www.yokohama-mc.jp>



●当院携帯サイトはこちらから

特集 — 医師が語る疾患 —

第12回 痛くない関節評価法～ 関節エコー検査について

リウマチ科部長 井畑 淳



関節リウマチという病気は関節炎が主体です。診断のためには関節炎を見つけなければいけません。一般的には採血や関節の触診（触ってみる）で関節炎かどうかを判断するのですが、それほど感度のよい検査法ではありません。レントゲン検査では骨の破壊はわかりますが、関節炎があるかどうかはわかりませんので、発症早期の患者の診断目的にはやや有効性が低下します。MRI検査を行えば関節液の溜まりや骨の中の炎症が検出できますが、1回に撮影できる範囲は限られ、炎症とただ水がたまっているだけの状態の区別が難しいことがあります。外から関節内に針を刺して調べる検査（関節穿刺といいます）で炎症があれば関節炎は確実ですが、刺せる関節は限られていて、感染を起こす可能性があります。

早期診断・早期治療を推進するために注目されている検査のうちのひとつが関節エコー検査です。この検査はおなかや心臓の超音波と同じように手や足・膝にゼリーを塗って行いますが、大きな関節から小さな関節まで一台のエコーの機械でいっぺんに調べることができます。炎症がある関節の場合、関節内にお水が溜まっていたり、関節内の滑膜（スポンジのような役割をします）が増殖していたり、関節内に血流がみられることがあります。この検査の感度は触診の数倍と言われており、画像も残せますので後で比較することもできます。また、痛風や変形性関節症など、関節が痛くなる他の病気を除外（鑑別といいます）する役にも立ちます。

また、治療がうまく行っているかどうか、病気が再燃しているかどうかの判定にも関節超音波検査は有用と言われていています。例えばお薬をやめる時にも検査で異常がなければ、止める根拠が増えるわけです。

関節エコー検査の問題点としては、検査できる医師や技師さんがまだ少ないことですが、日

本リウマチ学会などで講習会が開催され、検査ができる先生方が増加しています。

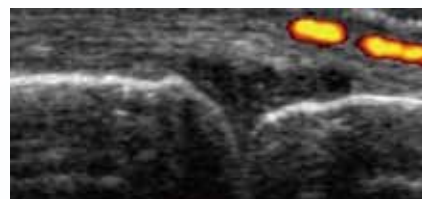
今年からリウマチ科に赴任した渡邊先生は大学病院で関節エコー検査を数年間学んでおり、その技術は確かなものです。リウマチ科では昨年から専用のエコーの機械を購入したため、関節エコー検査を院内で気軽にできるようになりました。

外来通院中の患者様につきましては、今後検査を受けていただく機会も増えてくると思いますが、ご理解を頂ければ幸いです。

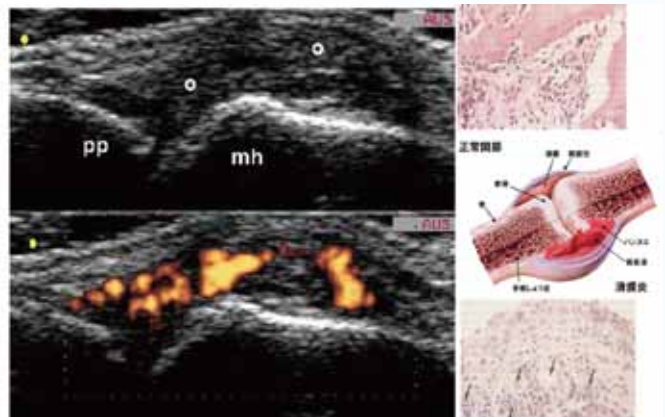


当科で使用しているエコーの機械

また、現在は水曜日の午後に自科検査として行っていますが、近い将来には開業なさっている先生方からの依頼にも対応していきたいと考えています。ご期待ください。



正常な方の関節エコーの画像



滑膜の肥厚、滑液貯留、滑膜炎（新生血管の有無）、骨びらん
関節リウマチの患者さんの関節エコー画像

第11回 薬剤師→糖尿病療養指導士⇒

糖尿病チームケアユニット(患者さんとともに…)

薬剤部 糖尿病療養指導士 池瀧 晶子

薬剤師の中には、薬全般の知識を持ちながら、一つの分野の事を少し詳しく知っている人たちがいる事をご存じでしょうか?今回は、その一つとして糖尿病療養指導士についてお話ししたいと思います。

糖尿病は、薬と長くお付き合いをしていく必要のあることが多い病気です。その長い時間の中で生活環境が変わり、薬を飲むための状況は変わっていくことがあると思います。そんな時、今の生活リズムで薬とうまく付き合っていく方法はないだろうか?少し薬の調節について医師と相談できるだろうか?糖尿病療養指導士は、そんなことを患者さんと一緒にお話しし、納得して薬を使っただけのようお手伝いしています。また、インスリンを始めると一生続けないといけない、今までと生活が一変してしまう、などの印象を持たれている方もいらっしゃいます。しかし、インスリンは一時的に使う場合もあり、インスリンを使いながらも海外旅行、外食、運動をされている方もたくさんいらっしゃいます。糖尿病療養指導士は、そんな生活と薬の付き合い方について、糖尿病の患者さんとたくさんお話しさせていただいたからこそ、患者さんのたくさんの工夫を似た悩みを持つ他の方へご紹介することができるのです。

当院では、薬を納得して使用していただくためには、ご自分の使っている薬の働きを知っていただきたい、他の治療法、薬の中でご自分に選ばれた薬を知っていただきたい、との思いから、糖尿病教室をはじめ、15年が経過しました。その頃、糖尿病チームケアユニットというチームが立ち上がりました。メンバーは、医師、看護師、栄養士、検査技師、理学療法士、薬剤師です。それ以来、このチームが糖尿病フェア(次頁記載)や食事会の企画運営、ウォークラリーの参加、また、カンファレンス(入院)や地域連携パス(外来)への介入を行っています。この様な活動を通して、入院時から退院後までの患者さんの悩み(食欲がない時、低血糖、薬の飲み忘れなど)を他部署と共有し、継続してより良いアドバイスができるよう努めています。また、勉強会への参加もチームで声を掛け合い、スキルアップを図っています。

当院薬剤部には、他にもさまざまな分野を専門とする薬剤師がおり、医療チームに参加しています。薬のご相談は、お気軽に薬剤部にお声かけください。



薬剤部 糖尿病療養指導士



糖尿病チームケアユニット 入院カンファレンス(いつも真剣です…)

行 事 紹 介

第 14 回糖尿病フェア

糖尿病チームケアユニット リハビリテーション科 米田 喜一

2016年6月17日糖尿病フェアが当院の正面玄関ホールの一部と外来の一部を使用し開催されました。本フェアは糖尿病への理解や関心を持って頂く事を目的に、年1回のペースで開催しており今年で14回目を迎えました。当院に来院されておられる全ての方を対象に、今年も昨年同様多くの方々に参加頂きました。

本フェアは、当院の糖尿病チームケアユニットのメンバーを中心に各部門の職員が、それぞれの分野の特徴をいかした催しを担当運営しております。具体的には、医師は血圧測定、看護師はフットケア・体脂肪測定、栄養士は栄養相談、薬剤師はお薬相談、臨床検査技師は血糖測定、理学療法士は運動療法です。各部門の催しともに、普段気になっている事を相談出来たり、普段は測定出来ない身体の数値を測定出来たり、と本フェアを通して糖尿病への理解が深まったことと思います。またスタンプラリーを同時に実施し、全ての職種の催しに参加し、スタンプを集めて頂いた方向けに簡単な参加賞も準備致しました。



当院の糖尿病チームケアユニットのメンバーは医師、看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士で構成され、チームで各部門の特徴をいかし、患者さんやご家族様へ教育支援を実施させて頂いております。糖尿病の事で何か気になる事があれば、当院にご相談下さい。またこの記事をお読みになりご興味を持たれた方は、来年の糖尿病フェアに是非足をお運びください。

最後になりますが、本フェアへ参加頂きました多くの方々に感謝と御礼を申し上げます。来年も充実した内容を用意致しますのでどうぞよろしくお願い致します。



行事紹介



看護フェスティバル～看護の心をみんなのところに～

皮膚・排泄ケア認定看護師 三谷 あずさ

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日は「看護の日」と制定されています。今年はピンクのエプロンを新調し、気持ち新たに専門・認定看護師を中心に、病棟看護師と協力し準備をすすめ、5月26日(木)“看護フェスティバル”を開催いたしました。横浜医療センターのことをもっと知っていただきたい！私たち看護師のことをもっと知っていただきたい！という願いを込めて開催しました。

・**展示コーナー**『私たちのベストショット』と題して看護場面を大きなポスターにして2週間外来各所に掲示し、ご覧いただいた方からは「とってもいい写真ね。」「あれ終わったらはがしちゃうの？もったいない」という意見を頂き、作成した看護師もとても喜んでおりました。



・**体験コーナー**「終わった時にスッキリ！ハンドマッサージ」「バイ菌を見てみよう！手洗いチェック」「いざという時ためになる心臓マッサージやAEDの使い方」

・**健康相談コーナー**「飲み込む力や栄養について聞いてみる嚥下・栄養相談」「脳卒中やがんの健康相談」体験コーナーと健康相談コーナーには194名の方が参加してくださり、盛大に開催することができました。

参加された方からは「1年に1回のイベントに当たるなんてラッキーだわ。」「とっても良いこと聞いた。」「来年はいつやるの？」などたくさんの嬉しい感想を頂くことができました。



ここでちょっと専門・認定看護師の紹介

日本看護協会は、国民への質の高い医療の提供を目的とした資格認定制度があり、「複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識及び技術を深めた者」を専門看護師とし、「ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践の出来る者」を認定看護師としています。当院には9分野11名の専門・認定看護師が在籍しています。皆様がより良い医療を受けられるよう看護の質の向上を目指し、日々活動しております。専門・認定看護師による専門外来を開設し、今後も地域の皆様に貢献でき、皆様に選ばれたる病院を目指し精進していきたいと考えております。



分野	人数
がん看護専門看護師	1名
急性・重症患者看護専門看護師	1名
感染管理認定看護師	1名
救急看護認定看護師	1名
緩和ケア認定看護師	1名
がん化学療法認定看護師	1名
摂食・嚥下障害看護認定看護師	1名
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	1名
皮膚・排泄ケア認定看護師	3名

行事紹介

防災訓練実施しました。

教員 齋藤 直美

本格的な夏をひかえ、快晴の中、6月1日に横浜看護学校で防災訓練を行いました。横浜市消防局戸塚消防署大正出張所の方々をはじめ、横浜市の消防局のみなさんのご指導の下、避難訓練、初期消火訓練、起震車、煙ハウス、ロープワークとさまざまな体験をしました。避難訓練は、避難経路を学生に伝えず、各自で行動をすることをしました。2、3年生は、迅速な動きもでき、1年生をリードする様子もみられ、スムーズに避難することができました。今年は晴天に恵まれ2・3年生は起震車の体験をしました。地震の際も冷静に行動することを考えることができていました。また、救助の方法として初の試みでもあるロープワークを各学年で行いましたが、消防局のみなさんの指導もあり、学生は真剣に取り組み、今後も身近なことから救助方法を学びたいと意欲的でした。最後に学生は、防災の正しい知識を身につけ行動することはもちろんのこと、看護師を目指す学生として、自身だけでなく入院している患者さま、地域住民の方々の安全を守るためにどうしたらよいかを考える機会となりました。今後も災害の意識を低下させないよう、日常生活の中で災害対策に取り組んでいきたいと思ひます。



職業実践専門課程認定校（文部科学大臣）

独立行政法人国立病院機構

横浜医療センター附属 横浜看護学校

お申し込み受付中!!

学校説明会

アットホームな雰囲気の中、ミニ講義を受けたり、看護技術の体験をしてみませんか？当日は、当校の先輩が皆様をご案内いたします。この機会にぜひ横浜看護学校を見にいらして下さい。

受付 9時～9時30分
説明会 9時30分～12時30分

第5回 8月22日（月）

【公開講座】正しい手洗いの方法

第6回 9月17日（土）

【公開講座】マスクのつけ方・外し方

第7回 10月29日（土）【楓葉祭】

お電話、Mailで、
事前にお申し込みください

【住所】〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3-60-2
【お申し込み・お問合せ】TEL：045（853）8322
【HP】<http://www.yokohama-ns.com/>



病診連携施設紹介

かねむらクリニック

診療科目：内科、胃腸科、肛門科、外科、リハビリ科、ペインクリニック（麻酔科）

当院は横浜市営地下鉄中田駅から徒歩5分、長後街道沿いにある開院14年目のクリニックです。医師2名(夫婦)で診療しています。生活習慣病(高血圧、高脂血症、糖尿病など)、呼吸器疾患、アレルギー疾患等の一般内科の他に、それぞれの専門性をいかし、院長が胃大腸内視鏡検査、副院長がペインクリニックに力を入れています。

内視鏡検査については、平成27年胃内視鏡1200件、大腸内視鏡660件を行いました。軽い鎮静剤を使用し、安全かつ苦痛なく検査を受けられるようにしています。内視鏡検査による早期病変発見に力を入れており、生検検査、治療のための日帰りポリープ切除術も行っています。また、胃がん予防のため、ヘリコバクターピロリ感染の有無を確認し、積極的に除菌治療を行っています。

ペインクリニックでは、痛みを伴う多くの疾患を治療しています。痛みは積極的に治療で緩和し、日常生活を妨げないようにすることが、健康な生活を送る上で大切です。頭痛、腰痛、坐骨神経痛、肩こり、頸椎症、肩痛、膝痛、肋間神経痛、手足のしびれ、帯状疱疹後神経痛等など、あらゆる部位の痛み、しびれ、違和感、冷えなどについてご相談を受けています。ペインクリニックの特徴的な治療方法として神経ブロック療法がありますが、リハビリ療法や内服治療も行っています。内服薬も消炎鎮痛剤以外に筋弛緩薬、安定剤、神経痛治療薬、麻薬性鎮痛薬、漢方等、それぞれの痛みにあった内服薬があるので、患者様の症状や希望に合わせた治療法を選択しています。

開業当初からのモットーは、患者様のお話を良く聞いて、丁寧な説明で不安を軽減し、十分に納得して頂いた上で、それぞれの方の希望にあった治療を受けて頂くことです。どんな些細なことでも相談して頂きたいと思っています。

また、当院での治療を行うだけでなく、適切な医療機関へのご紹介やアドバイスも、開業医の重要な役割と考えています。より専門性の高い検査や治療が必要な患者様には早めに適切な病院にご紹介するよう心がけています。

横浜医療センターには、院長が以前外科に勤務していたことがあります。医療レベルの高い基幹病院として、あらゆる科にわたり患者様を紹介させて頂き、大変お世話になっています。救急医療も非常に充実しており、迅速な対応に大変心強く思っています。今後も、微力ではありますが、横浜医療センターと連携させて頂き、地域医療に少しでも貢献できればと思います。



(左) 金村栄秀院長 (右) 金村和枝副院長



かねむらクリニック

〒245-0012 神奈川県横浜市泉区中田北2-6-14 アイエイビル2 1F-B

TEL : 045-805-6685 FAX : 045-805-6658

ホームページ : <http://www.kanemura-cl.com>

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
15:00~18:30	○	○	○	休	○	休	休

※神経ブロック療法は 月・水・金・土の午前中です。
休診日：木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

	診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考
外来受付 A	小児科	鈴木 陽一 二村 真季 押田 倫那	福山 綾子 鈴木 健 松本 峻	小林 慈典 齋藤 祐 大場 美央	鈴木 陽一 矢竹 暎子 今野 裕章	塩谷 裕美 富沢 登貴 五十嵐 梨紗	○: 予約外の診療には紹介状が必要
	心臓血管外科	益子原 幸宏	休診日(手術日)	休診日(手術日)	村下 一晃	村下 一晃	
	形成外科	浦上 秀威 小林 明裕 川村 正樹	日塔 寛昇 伊藤 りえ 日野 勝利	浦上 秀威 伊藤 りえ 川村 正樹	日塔 寛昇 佐藤 雅経 渡部 慎太郎	佐藤 雅経 小林 明裕 渡部 慎太郎	
	整形外科					大日塔 寛昇	★: 予約患者のみ
外来受付 B	総合内科外来	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	糖尿病内分泌内科	重松 絵理奈 小松 裕美子	重松 絵理奈	●手治原 誠	原 洋史 宇治原 誠	小松 裕美子	●: 午前の予約のみ ■: 午後の予約のみ
	神経内科	中澤 謙介	小林 綾礼奈 高橋 寛哉	高橋 寛哉(初診)	川端 雄一 田室 洋子	小島 麻里	
	腎臓内科	松下 啓	中野 雅友樹	廣田 薫悟	松下 啓	休診日	
	呼吸器内科	後藤 秀人 田原 基史 池田 秀平	田原 基史 後藤 秀人 増本 菜美	池田 秀平	休診日(検査日) 田原 基史 後藤 秀人	増本 菜美	初診には紹介状が必要
	消化器内科	宮澤 志朗(初診) 交代医師	鈴木 大輔	小松 達司(初診) 松島 昭三	松島 昭三(初診) 野登 はるか	交代医師(初診) 小松 達司	
	循環器内科	岩出 和徳(初診) 森 文章	森 文章(初診)	岩出 和徳(初診)	岩出 和徳(初診)	森 文章(初診)	
	リウマチ科	井畑 淳	※渡邊 俊幸 井畑 淳	※井畑 淳	井畑 淳	井畑 淳 ※渡邊 俊幸	※火曜日・水曜日は予約患者のみ(新患受付無し)
	外科・消化器外科	清水 哲也 渡部 颯 久保 博一	関戸 仁 松田 悟郎 山本 悠史 坂本 里紗	松田 悟郎 山本 悠史 坂本 里紗	関戸 仁 松田 悟郎 清水 哲也	休診日 (手術日)	※乳腺外科の初診には紹介状が必要(完全予約制)
	呼吸器外科		五来 厚生		渡部 克也	渡部 克也	新患の受付は火曜・木曜・金曜で行っております。
	脳神経外科	休診日 (手術日)	交代医師①	交代医師②	休診日 (手術日)	藤津 和彦	①: 第1・3・5週 岡田 富、第2・4週 宮原 宏輔 ②: 第1・3・5週 瓜生 康浩、第2・4週 谷野 慎
	緩和ケア内科(ペイン・緩和)	小川 賢一	小川 賢一		小川 賢一	小川 賢一	初診には紹介状が必要
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	○交代医師 手術日	○: 予約外の診療には紹介状が必要
	眼科	木村 正彦 内匠 秀尚	森 桂子 内匠 秀尚	木村 正彦 森 桂子	木村 正彦 森 桂子	休診日 (手術日)	初診には紹介状が必要 火曜日は新患のみ診療
	泌尿器科	高野 哲三 森 亘平	平井 耕太郎 柳澤 昌宏	休診日 (手術日)	平井 耕太郎 柳澤 昌宏	高野 哲三 森 亘平	
	皮膚科	白井 京美 上田 喬士	白井 京美 上田 喬士	手術日	白井 京美 上田 喬士	白井 京美 上田 喬士	・皮膚科の初診は紹介状が必要。 ・水曜日は予約患者のみ診療。 ・水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼はお断りしています。
外来受付 D	心療内科	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	※月～金: 初診の方は9時30分までに受付を済ませてください。(要紹介状、1日1名の予約制) 初診は在院の再診担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。
	精神科	小川 由佳	大橋 美莉子 永藤 毅	古野 拓	木谷 卓矢	土屋 美江 本山 博	初診には紹介状が必要。 毎月、第1金曜日、第3水曜日午後2時からPOP外来となります。
	婦人科	折尾 梓 永井 慶一	藤田 美加 高山 智子	藤田 美志 平原 裕也	豊杉 輝彦 岩田 聡貴子	鈴木 理絵 向田 一貴	地域連携室を通して完全予約制
	産科	妊婦健診 (交代医師)	妊婦健診 (交代医師)	妊婦健診 (交代医師)	妊婦健診 (交代医師)	妊婦健診 (交代医師)	
専門外来 (予約制)	歯科口腔外科	根岸 明秀 (再診のみ)	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (午前初診・午後再診)	※急患はご連絡ください。	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (午前初診・午後再診)	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (再診のみ)	初診: 火・木曜日 8:30～11:00、要紹介状/診療情報提供書 初診: 紹介状から連絡の上、随時受付。要紹介状/診療情報提供書 再診: 完全予約制。 再診: 急患: あらかじめ電話連絡して下さい。
	小児科	アレルギー検査③ シナジス(9～4月)	アレルギー検査④ フォローアップ外来 (矢竹 暎子)	アレルギー検査⑤ 神経外来⑥	フォローアップ外来 (福山 綾子)	アレルギー検査⑦ (富沢 登貴)	③第2・第3・第4週 ④第1・3週(火)長濱 昌子 第5週(火)五十嵐 梨紗 ・アレルギー外来 ・フォローアップ外来 ⑤第2・4週(火)渡辺 好宏
	整形外科	膝痛外来(⑧) (大杉 直樹)	アレルギー検査⑨ (鈴木 陽一)	アレルギー検査⑩ (鈴木 健)	予防接種(交代制) 13:30～14:30 (鈴木 陽一)(月・日)	1ヵ月健診 (矢竹 暎子)	⑧: 第4週(月)内分分泌 大杉 直樹 ⑨: 第1・3週(月)内分分泌 齋藤 祐 ⑩: 第2週のみ
	神経内科		⑩頭痛外来 ⑪食事・嚥下外来 物忘れ外来		脊髄外来		地域連携室を通して完全予約制 ⑩第2・4週(頭痛外来)、第1・3・5週(摂食・嚥下外来)
	糖尿病内分泌内科	糖尿病連携バス外来					
	腎臓内科	腹膜透析外来		腹膜透析外来	腹膜透析外来		
	感染症内科		感染症外来				
	看護部			糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来	糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来		
	外科		スキンケア外来 ※乳がん検診	スキンケア外来			※乳がん検診、乳腺外科は完全予約制
	心臓血管外科	血管外来 (飯島 正樹)				大動脈瘤・セント トグラフ外来 (西本 隆亨)	
	耳鼻咽喉科				補聴器外来(午後)		
	循環器科			ペースメーカー外来 (網代 洋一)	睡眠時無呼吸 症候群外来 (網代 洋一)		
精神科	物忘れ外来 助産師外来	助産師外来	助産師外来	助産師外来	助産師外来	初診には紹介状が必要。精神科外来を通して完全予約制	
産婦人科	母乳外来(午後) ▽母親教室	母乳外来(午後)	母乳外来(午後)	母乳外来(午後)	母乳外来(午後)	▽: 午後のみ。夫立会教室は第2、4週土曜日、第3週日曜日。	
呼吸器内科					アスベスト外来 (橋原 益史)	地域連携室を通して完全予約制(第1金曜日のみ)	
放射線科	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人	榎多 政治	杉山 正人	9:00～11:00 地域連携室を通して完全予約制	
病理診断科	※	※	※	※	※	※担当医: 新野 史 完全予約制(1～2名)、診療日は随時的	

初診 受付: 平日 8:30～10:00
再診 (予約外) 受付: 平日 8:30～10:00
休診 日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

◆編集後記◆

4月より広報誌の編集に携わっております。横浜医療センターが地域で選ばれる病院になるように、地域の皆さまや地域医療機関の方々により良い情報をお届けできればと思います。

7月に入ってから暑さもひしひしと感じております。暑い季節を乗り切るためにも健康管理には十分気をつけたいものです。特に熱中症にはくれぐれもご注意ください。(K・S)